

会 員 各 位

一般社団法人宮城県歯科医師会
会 長 細 谷 仁 憲



宮城県歯科医師会学術講演会（ご案内）

寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、はぎの歯科・矯正歯科の山影俊一先生をお招きして不正咬合の患者に対するナラティブ&エビデンスアプローチについてご講演いただけることとなりました。

抄録にあります通り、実際の臨床に則したお話となりますので会員の先生方におかれましてはふるってご参加下さいますようご案内申し上げます。

また、人数につきまして、新型コロナウイルス感染症等感染拡大防止の為、定員を設けさせていただき 50 名までとさせていただきます。

参加ご希望の方は下記参加申込書を、宮齒事務局宛 FAX にて 令和 4 年 2 月 1 5 日 (火) までお申し込みください。

記

日 時：令和 4 年 2 月 2 7 日 (日) 午前 1 0 時～1 2 時 3 0 分

場 所：宮城県歯科医師会館 5 階講堂

講 演：小さな歯科医院で患者満足度の高い治療を目指す

—主に不正咬合の患者に対するナラティブ&エビデンスアプローチについて—

講 師：はぎの歯科・矯正歯科 山 影 俊 一 先生

定 員：5 0 名

※当日の参加申込みは受付ておりません。

※感染症対策のため、マスクの着用をお願いいたします。

問合せ先 宮城県歯科医師会 菅野・阿部

TEL (022) 222-5960 FAX (022) 225-4843

.....
【FAX 022-225-4843】

宮 城 県 歯 科 医 師 会 学 術 講 演 会

令和 4 年 月 日

地 区 名 _____ 氏 名 _____

診 療 所 名 _____

TEL _____ FAX _____

申し込み締切:令和 4 年 2 月15日(火)

生涯研修 I C カードをご持参下さい

「小さな歯科医院で患者満足度の高い治療を目指す —主に不正咬合の患者に対するナラティブ& エビデンスアプローチについて—」



はぎの歯科・矯正歯科 山 影 俊 一

《抄録》

近年歯科医療を取り巻く環境が今までになく大きく変化してきている。歯科医の増加と相まって、その裾野の広がりや細分化が仕事の役割分担を可能にし、充実したきめ細やかな医療を提供する土壌が出来上がりつつあると感じる。この拡大しつつある枠組みの中で、我々はどのような役割を担うべきなのか自問する必要があるだろう。開業3年目の1988年に、日本歯科評論社から『歯科開業を志す人へ 先輩からのメッセージ』なる書籍が出版された。その書籍の「開業を目指した15ステップ 技術修練を積極的に行う」という章の中で、患者との長いお付き合いのためには継続的な技術修練が欠かせないことを主旨とする原稿を執筆させていただいた。おかげさまで現在、開業当初からお付き合いさせていただいている患者も数多く、彼らがおそらく本音で話してくださる感想に“異和感のない治療”をあげる人が多い。これにはいろいろな意味合いが含まれようが、患者からする治療の成否にはラポール(心が通い合う関係)が不可欠であり、継続的な技術修練だけではなくナラティブベーストメディスン(寄り添い、受け入れられる個別対応の医療)とエビデンスベーストメディスン(最新の医学的知見と技術に基づく医療)のバランスがうまく取れていることをそう表現してくれている、と解釈している。様々な分野でご活躍されている諸先生には、今回の講演をそういう視座から俯瞰的に捉え、参考にさせていただければ幸いである。

《略歴》

1982年 東北大学歯学部卒業

1985年 仙台市開業

《著書》

- ・歯列不正・不正咬合の患者が来院したら
—補綴的処置の選択基準と矯正治療介入のタイミング—
クインテッセンス出版(株)
- ・「補綴力」を高める
—今日から活かせるインテリジェンスとテクニク—
クインテッセンス出版(株)